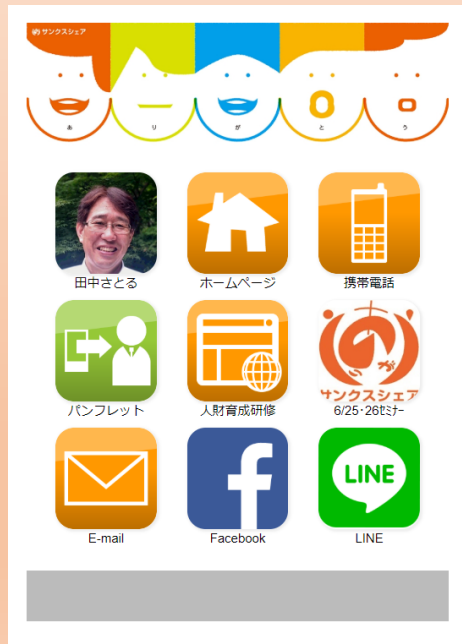


# 支援の効果を補助するツールの活用

～ TEACCH（構造化）の考え方をベースに ～



右のQRコードから上記のページの表示をお願いします。

R2.11.6  
ハピネスキッズスタッフ研修



合同会社サンクスシェア  
代表理事 田中 聡



- 1 理論ではなく子どもの観察から自閉症の特質を理解する
- 2 保護者と専門家の協力
- 3 治癒ではなく子どもが自分らしく地域の中で生きて行けることがゴールである
- 4 正確なアセスメント（評価）
- 5 構造化された指導法の利用
- 6 認知理論と行動理論を重視する
- 7 スキルを伸ばすと同時に弱点を受け容れる
- 8 ホーリスティック（全体的）な見方を重視する
- 9 生涯にわたるコミュニティーに基礎を置いたサービス

- 1 物理的環境の整理統合
- 2 予測性のある活動の手順
- 3 視覚的スケジュール
- 4 ルーティンと柔軟性
- 5 構造化されたワーク／活動システム
  - ① 内容
  - ② 量や時間や期間
  - ③ 終わり
  - ④ 次の予定
- 6 視覚的に構造化された活動
  - ① 視覚的指示
  - ② 視覚的整理統合化
  - ③ 視覚的明瞭化

## 構造化とは

物事の全体を定義した上で「構成要素」と  
「構成要素間の関係」を整理する取り組み。

### 構造化のメリット

- ・ 問題解決の漏れやダブりを回避しやすくなる
- ・ 問題の原因に対して適切な対処ができるようになる
- ・ 問題解決の優先順位がつけやすくなる
- ・ 情報共有やコミュニケーションがしやすくなる

# なにをねらって療育活動をする？

児童発達支援ガイドライン（厚生労働省）

|              |                                                                                                                           |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健康・生活        | 健康状態の把握 健康の増進 リハビリテーションの実施 基本的生活スキルの獲得 構造化等により生活環境を整える                                                                    |
| 運動・感覚        | 姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 身体の移動能力の向上 保有する感覚の活用 感覚の補助及び代行手段の活用 感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）への対応                             |
| 認知・行動        | 感覚や認知の活用 知覚から行動・認知の認知過程の発達 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 数量、大小、色等の習得 認知の偏りへの対応 行動障害への予防及び対応                                          |
| 言語・コミュニケーション | 言語の形成と活用 受容言語と表出言語の支援 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 指さし、身振り、サイン等の活用 読み書き能力の向上のための支援 コミュニケーション機器の活用 手話、点字、音声、文字等のコミュニケーション手段の活用 |
| 人間関係・社会性     | アタッチメント（愛着行動）の形成 模倣行動の支援 感覚運動遊びから象徴遊びへの支援 一人遊びから共同遊びへの支援 自己の理解とコントロールのための支援 集団への参加への支援                                    |

## 報連相で最も重要なことは？



## 【受け取る感覚を補助する】

|       |       |    |
|-------|-------|----|
| 「見る」  | ・ ・ ・ | 視覚 |
| 「聞く」  | ・ ・ ・ | 聴覚 |
| 「味わう」 | ・ ・ ・ | 味覚 |
| 「嗅ぐ」  | ・ ・ ・ | 嗅覚 |
| 「触れる」 | ・ ・ ・ | 触覚 |



## ② 行動問題が起こらない環境設定をする

TEACCH理論の活用

「もの」 ・・・ものを使って環境そのものをコントロールする

例：壁向きに配置した机で学習する

「ひと」 ・・・いわゆる誰が対応するか 人による対応の仕方

例：重要なルールをインプットしてほしい時、管理者に話をしてもらう

「こと①」 ・・・活動内容やイベントのコントロール

例：「今日のおやつコーナー」などスケジュールボードの提示をする

「こと②」 ・・・空間・場所のコントロール

例：学習やおやつの時間に座る席を指定する

「こと③」 ・・・時間帯や時間の長さ、順序などのコントロール

例：本人合わせた、時間入りのスケジュール表を準備する

見える

見えない

### 視覚的構造化の視点

- ① 視覚的**指 示** ・ ・ 方法や手順を示す
- ② 視覚的**整理統合** ・ ・ 見やすく工夫する
- ③ 視覚的**明 確 化** ・ ・ 強調する